

2025年3月度炭焼き部会

炭焼きボランティア
体験プログラムレポート

< 3月の活動概要 >

■ 炭焼き活動

先月に続き、今月はたたら製鉄の燃料用として2回目の木炭焼きを行いました。

宮谷戸のドラム缶窯(MK-2)は、昨年前半、炭焼後の整備(清掃)不良が原因で自発炭化温度があまり上がらず、収量・質ともに悪い状況が続いていましたが、煙突内部のタール等を徹底して除去したことで、昨年秋頃から非常に安定した性能を維持できています。今月もブルーフレームが長時間観察されました。

たたら燃料用としての木炭焼きはあと1回の予定。



煙突内のタール



ブルーフレーム

< 3月の活動概要 続き >

■ 新規ボランティア会員の獲得に向けて(継続)

【今月の体験応募者】

2家族3名(1家族はジュニア倶楽部会員の親子)

【体験内容】

- ① 通常の炭焼き(窯詰め、火入れ、窯出し)
- ② 炭材作り(竹材の採寸、竹割り、束ね)、薪割りなど
- ③ 竹細工(カエルのカスタネット組立て)

※炭材作りではレシプロソー(電動鋸)を使っの採寸を体験



3 月度 活動レポート 第 1 週

- 3月7日（土）9：00～12：00

- 窯詰め（MK-1使用、木炭）
- 薪割り
- 枯れ竹の採寸（68 cm）
（無煙炭化器での炭焼き用）
- ばじょうじ窯解体廃棄物の処理
 - コンクリート破片と耐火煉瓦の仕分け

- 3月14日（土）9：00～19：00

- 火入れ（MK-1）
- 軟炭焼き（無煙炭化器使用）
- 薪割り／出来高：18束、計85.06 kg
- 炭材作り（採寸カット、竹割り、束ね、計量）
- 部会ミーティング
（都筑里山倶楽部2026年度年間事業計画の配布・説明）

- 3月21日（土）9：00～12：00

- 窯出し（MK-1）木炭
- 軟炭焼き（無煙炭化器、竹炭）の回収
- カエルのカスタネット組立て（50匹）
- 竹酢液のボトル詰め／出来高 20本（500 mL）
- 次月（4月）の活動予定表配布・説明

< ドラム缶窯 MK-1による炭焼き >

- 炭材：公園内の間伐けやき材（横浜市公園事務所より提供）
- 乾燥日数 & 乾燥減量：不明
- 入木材量：73.15 kg
- 出炭量：17.11 kg (23.4%)
- 採取木酢液：6.0 L



（比較／対前月2月度の木炭焼き）

炭材：こなら木片 色々 入木材量：75.10 Kg
出炭量：15.94 Kg (21.2%) 採取木酢液：12.0 L

※ 使用炭材（けやき）は2月度のものと同じものだったが、乾燥が進んだせい
か、木酢液などの抽出液量は前回より減少した。しかし、タールのほうは大
量に煙突内に残留していた。タールの生成は木材の方が竹よりも多い？



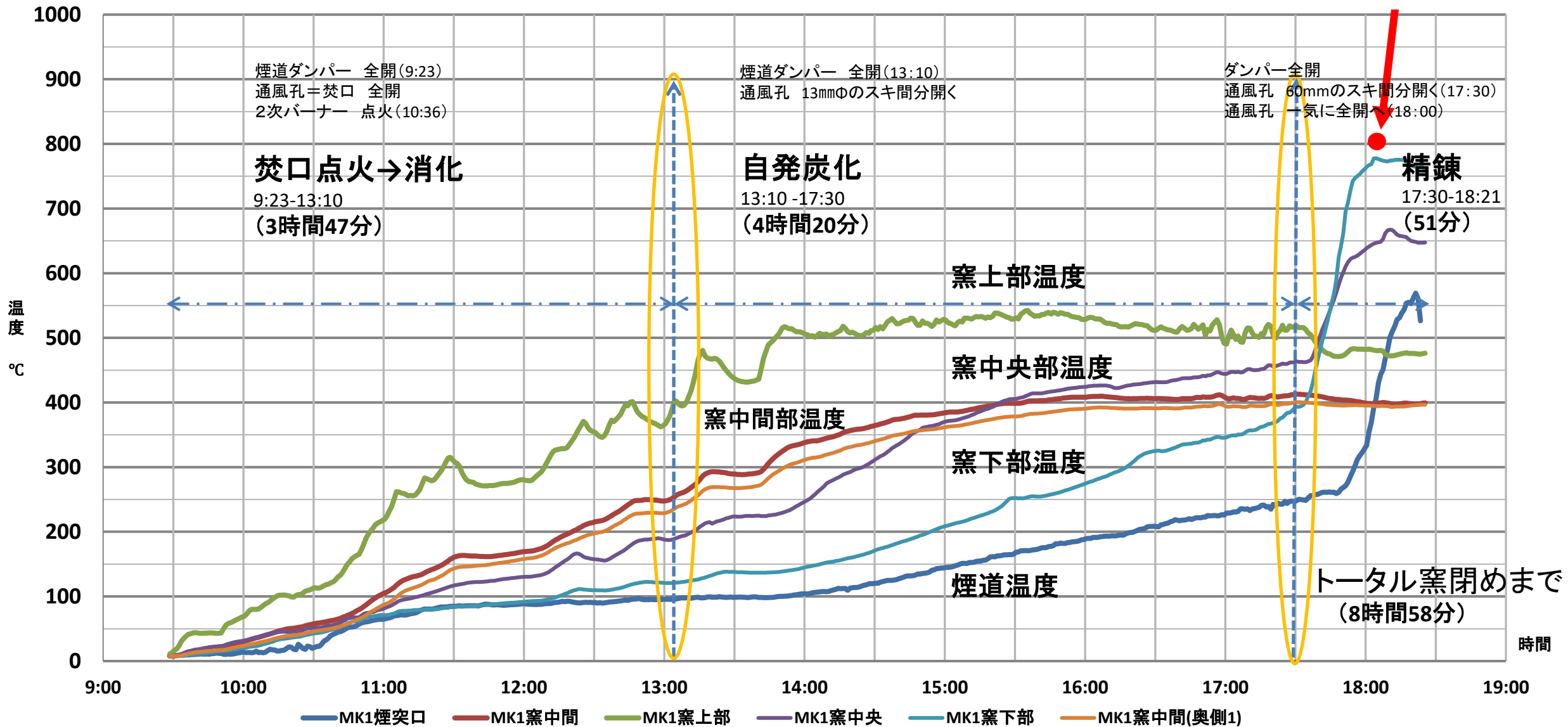
2026年3月14日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 木炭焼き結果

第264回(窯改修後22回目) 炭焼き、気温 10.4°C、天気 晴れ

炭材:間伐ケヤキ (伐採年 2026年2月(?))、乾燥日数、乾燥重量減は不明

入木材量: 73.15 Kg 採取木酢液: 6.0 L 出炭量: 17.11 Kg (23.39%)

MK-1 窯下部
最高温度777°C



<炭焼きボランティア体験>

①



炭材（木）を詰める



火入れの番



窯開け



窯出しバケツリ

第1週

第2週

第3週



竹細工（蛙のカスタネット／組立て）



無煙炭化器で竹炭焼き（軟らか炭）



<炭焼きボランティア体験 続き>



竹酢液のボトル詰め・ラベル貼り



薪割りと運搬



竹の採寸カット



竹割り



道具の片づけ